

愛玩動物看護師の生涯教育の実態調査結果について

背景

- 愛玩動物看護師の養成・資質向上は、愛玩動物看護師制度推進に向けた検討事項の柱の一つ。
- 生涯教育の実態調査として、令和6年度第3回合同会合で愛玩動物看護師関係の2団体（（一財）動物看護師統一認定機構、（一社）日本愛玩動物看護師会）、令和7年度第2回合同会合で（一社）日本動物看護学会による生涯教育の実施状況を報告した。今回は（公社）日本動物病院協会、（公財）動物臨床医学研究所、（一社）日本臨床獣医学フォーラムによる生涯教育の実施状況を報告する。

公益社団法人 日本動物病院協会(JAHA)

<p>日本動物病院協会概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■目的：人と動物の共生社会の実現 ■設立：1978年1月 ■事業：1 動物病院および動物医療の充実に関する事業 2 動物病院による地域社会への貢献を推進する事業 3 動物病院向け印刷物の制作と販売 ■会員数：8,300名、会員病院数672院、取得可能資格5種、アニマルセラピー活動回数22,679回（2026年1月現在） ■年会費：ホスピタル会員120,000円 クリニック会員60,000円 ■会員特典：スタッフの無料会員登録、セミナーDVDの無料送付、JAHA動画配信サービス、セミナー参加等の優待、動物病院情報・求人情報の掲載、その他の各種サービス ■卒後継続教育セミナー：VNセミナー、動物病院スタッフのためのシニア講座、動物看護トレーニングセンター、新人ステップアップシリーズ、1on1コーチング実践講座、こいぬこねこの教育アドバイザー養成講座、インストラクター養成コース、家庭犬のしつけ方講座等 ■年次大会：年1回開催 JAHA年次大会2025「One Well-being」対話」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容（一部抜粋） 演題：“対話”を生む看護記録とは？－患者・飼い主・スタッフをつなぐ言葉 ：看護記録の基礎的知識、現場の愛玩動物看護師の各病院での看護記録の取り方、獣医師の情報共有について 実技：「動物看護技術コンテスト」
<p>成果や課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■国家資格化後、資格取得者の学習意欲が増したと感じている。 ■個人だけでなく、病院団体で参加・受講が出来る点について好評である。 ■オンラインセミナーは受講しやすいことがメリットである一方で、出席の管理が困難。

愛玩動物看護師の生涯教育の実態調査結果について

公益財団法人 動物臨床医学研究所

動物臨床 医学研究 所 概要

- 目的：獣医学に関する臨床的研究を行い、併せて獣医療技術の向上のための教育と知識の普及を行うことにより、動物臨床医学の発展と、さらに、人と動物の接点の探求及び動物愛護思想の啓発普及を図り、もって社会の福祉と学術の発展に寄与する。
- 設立：1991年4月
- 事業：1 獣医学に関する臨床的研究
2 獣医学に関する刊行物の発行、学会や講演会の開催などの情報提供活動 「動物臨床医学会」
3 獣医医療のスタッフの教育・養成などの人材育成活動
4 野生鳥獣の保護管理による自然資源の保護さらに動物愛護思想の啓発、普及のための保護施設「アミティエ」を介しての活動展開
(詳細) 動物臨床医学会、小動物臨床研修施設、動物臨床医学研究所セミナー、合同カンファレンス、人と動物の会、野生動物の保護管理、盲導犬の育成、小動物臨床血液研究会、小動物臨床栄養学研究会、動物のいたみ研修会、動物遺伝子疾患研究会、治験などの各種臨床試験、各種セミナー等の企画・開催、心電図解析及び診断指導、海外文献コピーサービス
- 年会費：獣医師A会員(動物病院開設獣医師もしくは院長、動物病院およびその運営法人代表者を含む。)35,000円
動物看護師会員12,000円等
- 会員特典：・出版物配布：学術雑誌「動物臨床医学：Journal of Animal Clinical Medicine」
内容は原則として、総説、原著、症例報告、短報、海外文献紹介、研究施設紹介等で、A4版、カラー印刷年4回発行予定。
*学生会員を除く 動物臨床医学会年次大会「プロシーディング電子データ配信」
・合同カンファレンス(オンライン開催)への参加(無料)：オンライン(zoomミーティング利用)にて開催(質疑応答あり)。
毎月、分科会企画の教育講演に加え、症例検討も公募し開催。
・財団主催の年次大会及びセミナー等の参加登録料の割引。
・心電図解析サービス：心電図の解析から、治療までアドバイス。
・コピーサービス：「動物臨床医学」に載っている文献を要望があればコピー。
- 認定講習：「認定愛玩動物看護師」オンライン ※5年以上の臨床経験者であること、(公財)動物臨床医学研究所・動物臨床医学会への入会、受講証の購入、講習を受講、受験資格審査、試験合格、登録申請が必要。
・目的：総合的な専門知識と実践力を磨くこと
・内容：オンライン7セミナー(1カ月間)、年次大会(対面)8セミナー(2日間)
(一部抜粋)・「ズーズー、ガーガー、ヒーヒー、ゼロゼロなど異常呼吸音があったとき」
・愛玩動物看護師のためのやさしい腫瘍学～腫瘍診療で看護師にできること～

成果や 課題等

- 開業医がプログラムを作成しているため、実践的な内容になっている。
- 獣医師会や愛玩動物看護師会等に所属しない人が多く、認定講習の受講希望者数の推測が困難だった。
- 病院単位の登録場合は退職後の受講継続が出来なくなる事例があるため、個人登録を勧めている。

愛玩動物看護師の生涯教育の実態調査結果について

一般社団法人 日本臨床獣医学フォーラム(JBVP)

日本獣医 臨床学 フォーラム 概要

- 目的：充実した継続教育と真摯な科学的議論を通じて、人と動物の絆を大切にす社会が求める獣医師となり、人と動物の幸せのための伴侶動物医学を実践し発展させることで、社会に貢献する。
- 設立：1998年4月
- 事業：1 継続教育プログラム 「JBVPレクチャーシリーズ」
2 インターネットホームページによる情報提供
3 年次大会の開催 年1回開催
4 地区大会の開催 北海道(札幌)・東北(仙台)・愛知(名古屋)・京都・九州(福岡)の5か所で、年1回開催
5 市民講座の開催 年次大会、地区大会の中で行う
6 ビデオ・テキスト販売 各会場および通信販売
- 会員制度なし、大会参加費等あり
- 年次大会：2025年「共に紡ぐ：もっと考えよう 伴侶動物との暮らし—どうぶつにやさしい医療—」 参加者総数4,087名
 - ・内容：セミナー、一般演題、ポスターセッション、実習（愛玩動物看護師・アニマルケアスタッフ対象プログラム）
 - （一部）・犬や猫の終末期ケアを考える - 最期まで穏やかに過ごすことを目指す、最後まで守りたい身体機能のケア -
 - ・がんとともに生きる子に“今すぐできる看護”は、こんなにある - 一次診療からはじまる実践的ケアのすすめ -
- 認定資格：「JBVP VNCA+（愛玩動物看護師 臨床研修プログラム）」オンライン
 - ・目的：継続した質の高い卒後教育
 - ・内容：計20コマの臨床的および実践的な講義。合格すると「認定証」が付与される。プログラムは随時更新される。
 - （一部抜粋）・愛玩動物看護師のための倫理と責任
 - ・臨床現場で求められる愛玩動物看護師の姿勢～伴侶動物医療における接遇とコミュニケーション～
 - ・動物の保定とフィジカルアセスメント

成果や 課題等

- 認定資格を取得することで、個人のスキルが明確になるメリットがある。
- 統一した知識を得ることができ、病院内全体のスキルアップ向上につながっている。
- 実技実習は年次大会のみ。認定プログラムに組み込んでいないところが課題点。

愛玩動物看護師関係団体による生涯教育の比較

	一般財団法人 動物看護師統 一認定機構	一般社団法人 日本愛玩動物 看護師会	一般社団法人 日本動物看護 学会	公益社団法人 日本動物病院 協会	公益財団法人 動物臨床医学 研究所	一般社団法人 日本臨床獣医 学フォーラム
	『愛玩動物看護師 生涯教育講座』	動物看護大会 学術集会 各支部企画 専門認定事業	学術大会・例会 学会誌 『学術講座』	オンライン講座 実践講座 学術集会 養成講座	認定講習 『認定愛玩動物 看護師』 学会・研究会	認定資格 『JBVP VNCA+』 学術集会
臨床関連分野 (各科診療補助・看護技術・チーム獣医療 訪問看護・院内コミュニケーション等)	◎	◎	◎	◎	◎	◎
愛護・適正飼養関連分野 (行動学・栄養学・グリーフケア・動物福祉 等)	◎	◎	◎	◎	○	○
社会課題関連分野 (公衆衛生・社会福祉・災害対応等)		○	◎	○		○
職業倫理・法制度 (キャリア形成等)		○	○			

◎：重点的な取り組み分野（各団体の現状＋団体へのヒアリング結果）
○：取り組み分野（各団体の現状）

養成・資質向上
愛玩動物看護師の生涯教育の実態調査結果について
現状の課題整理

【調査対象】

(一財) 動物看護師統一認定機構・(一社) 日本愛玩動物看護師会・(一社) 日本動物看護学会・
(公社) 日本動物病院協会・(一社) 日本臨床獣医学フォーラム・(公財) 動物臨床医学研究所

【課題】

- 受講者数が想定より少なく講義講座の周知が不足している。
- オンライン講座は受講しやすく好評だが、出席の管理が困難な場合がある点やプログラム内に実技や実習を組み込んでいない現状がある。
- 対面学習（実技・実習）は受講者数が少ない。
- 獣医師会や愛玩動物看護師会等に所属しない者への周知や受講希望者数の推測が困難。
- 病院単位の受講の場合は統一した学習ができる一方、退職後の受講継続が出来なくなる場合がある。

【考察】

- 愛玩動物看護師の学習ニーズはあるが、受講しやすいオンライン形式の講座に偏っている状況が推察される。
- 受講者数が少ない原因として、対象者の受講希望の把握や周知経路の確保が十分ではなく、情報が行き届いていない可能性が考えられる。
- 実技を組み込んだ認定制度等のプログラム設計が困難な場合がある。
- 受講登録が動物病院単位である場合、生涯教育に対する動物病院の積極的な姿勢が受講のしやすさにつながる一方、継続した個人の生涯教育としては機能しにくい可能性が示唆される。
- 社会課題関連分野、職業倫理・法制度分野の生涯教育が現状十分とは言えない可能性がある。



- ✓ キャリア年数に応じた幅広い講座内容、受講形式等の設定の検討が必要。
- ✓ 受講者数増加に向けて周知方法や価格、開催の時間帯等について検討が必要。